

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。
市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行（新聞折り込み）し、審議内容をお知らせしています。



いちかわ

市議会だより

2026年(令和8年)第273号

1月1日(祝)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/154100002.html>



令和8年 丙午

考古博物館のある高台から臨む朝日

◇新年のごあいさつ◇

市議会議長 大久保 たかし

謹んで新春をお祝い申し上げます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい令和8年の新春を、お健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、本市の市政運営並びに市議会活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界では、ガザ地区におけるイスラエルとハマスの軍事衝突や、ロシアのウクライナ侵攻により、多数の死傷者と深刻な人道危機が引き起こされるなど、依然として国際社会全体に大きな影を落としております。

一方、国内に目を向けますと、大阪・関西万博の開催、東京デフリンピックの成功など、国内外に日本の活力を示す出来事が数多くありました。

本市におきましては、4月に国府台スタジアムがオープンし、スポーツの拠点として新たな一歩を踏み出し、10月には歴史あるこの市川の地で、「第6回全国国府サミット」が盛大に開催され、歴史・文化・まちの魅力を全国に向けて発信いたしました。

そして市議会では、昨年末からタブレット端末を導入いたしました。これにより膨大な資料のペーパーレス化、迅速な情報の共有、そして時間とコストの効率化を図りますとともに、議員の議論をより生産的かつ効果的に行ってまいります。

私も市議会は、社会情勢の動向を注視しながら、これまで以上に市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、議論を尽くし、「安心・安全」で「活気あふれる」住み続けたいまち市川を次世代へ繋いでまいります。そして「開かれた議会」、「市民に身近な議会」を目指し、引き続き議会活動の情報公開と広報広聴活動を充実させてまいります所存でございます。

新年にあたり、改めて、市民の皆様のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、実りある幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

市議会副議長 にしむた 勲

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より本市議会運営及び議会活動に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

穏やかな新年を迎えられることに感謝する一方、物価高や社会保険料、税負担で、暮らしが必ずしも豊かではないという現実をしっかりと受け止めなければなりません。本市に目を向けますと少子高齢化や防災対策、子育て・教育環境の充実など、課題が山積しております。令和8年は丙午（ひのえうま）、情熱と行動力を象徴する「火の馬」の年です。市議会としましては、この年の勢いにあやかり、地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、一つひとつの課題に誠実に取り組んでまいり所存です。どうか皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が皆様にとって新たな挑戦へと力強く踏み出す年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。